

## 第2学年 算数科学習指導案

児童 2組 男子11名 女子14名 計25名  
授業者 板垣幸紀

1 単元名 かけ算(2)「九九をつくろう」(東京書籍 2年下)

2 単元について

(1) 教材について

子どもたちは、第1学年で、2ずつ、5ずつまとめて数えること、数の構成に基づく数の数え方について学習してきた。また、前単元では、乗法が用いられる場面を通して、乗法の意味について理解し、この意味に基づいて乗法九九を構成したり、その過程で乗法九九について成り立つ性質に着目したりするなどして、2～5の段の九九を身につけてきた。

本単元では、6、7、8、9、1の段の九九を扱うほか、乗法に関して成り立つ性質やきまりを利用して、簡単な場合の2位数と1位数の乗法の仕方についても考えさせる。

(2) 子どもたちについて

子どもたちは、かけ算の学習に意欲的に取り組んでいる。1つ分の数といくつ分が分かれば、累加に頼らずとも答えを求められることにかけて算の有用性を見出し、学習が進むたびに九九の暗唱に積極的に取り組んでいる様子が見られる。また、乗法の交換法則や分配法則に気づいている児童もおり、九九の構成の際に活用する場面も見られた。

しかし、問題文によっては、1つ分の数といくつ分の数を適切に見出すことが困難なこともあり、かけ算の意味がしっかり定着しているとは言えない。また、2～5の段の九九の暗唱が不十分な児童も見られる。

(3) 指導にあたって

九九を構成する学習では、「乗数が1増えると積は被乗数分増える」という乗法の性質、乗法の交換法則、分配法則などを活用して、児童自ら九九を構成していけるようにしたい。また、乗法九九の表を観察して、数の並び方や変化の仕方に規則性を発見させ、数の並びの不思議さやこのような発見をする楽しさを味わわせたい。さらに、九九の活用を通して、図や式を読む力を培ったり問題解決への考え方を広げたりしたい。

3 単元の目標

乗法の意味について理解を深め、それを用いることができるようにする。

【関心・意欲・態度】乗法について成り立つ性質やきまりを用いることよさに気づき、乗法九九の構成や計算の仕方を考えることに活用しようとする。

【数学的な考え方】乗法について成り立つ性質やきまりを用いて、乗法九九の構成の仕方を考え工夫し、表現することができる。

【技能】乗法九九(6、7、8、9、1の段)を構成し、確実に唱えることができる。

【知識・理解】乗法九九について知り、乗法に関して成り立つ性質の理解を確実にする。

4 単元の指導計画(15時間)

- 6の段、7の段の九九の構成、暗唱と適用 (4)
- 8の段、9の段、1の段の九九の構成、暗唱と適用 (4)
- 倍を用いた問題の解決 (1)
- 乗法と積の関係、乗法の交換法則の理解 (1)
- 乗法の性質やきまりを使って、簡単な場合の2位数と1位数の乗法の答えの求め方を考えること (1)
- 乗法九九を総合的に活用した問題の解決 (2) 本時2/2
- 学習内容の習熟と理解 (2)

5 本時の指導（13／15）

(1) 目標

乗法九九を総合的に活用して、問題を解決することを通して、九九の理解を深める。

(2) 指導の構想

共有の課題では、「まとまりを作る」という解法の見通しを持たせたい。ジャンプの課題では、かけ算を適用できるまとまりをどうやって作り出すかがポイントとなるため、ペア学習でのひらめきや対話に期待したい。全体での学び合いでは、解答を導き出す方法が多岐にわたることに触れ、ひらめいたり答えを導き出したりする楽しさやできたときのうれしさを感じさせられるようにしたい。

(3) 展開

学習内容	指導上の留意点（・支援 ○評価）
<p>1 共有の問題を把握する。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>はこの 中の チョコレートは、ぜんぶで 何こ ありますか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かけ算が使えるようにまとまりを作る。</li> <li>・考えたことを式に表し、個数を求める。</li>   <li>・各自の考えを共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「1つ分の数×いくつ分」を確かめておく。</li> <li>・かけ算を使うために、どんなまとまりを作るかペアで考えさせる。</li> <li>・まとまりをプリントに図示させてから立式させる。</li>   <li>・図と式を対応させながら発表させる。</li> </ul>
<p>2 ジャンプの問題を把握する。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>この はここに チョコレートを ぜんぶ 入れることが できますか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かけ算が使えるようにまとまりを作る。</li> <li>・考えたことを式に表し、個数を求める。</li>   <li>・各自の考えを共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かけ算を使うために、どんなまとまりを作るかペアで考えさせる。</li> <li>・まとまりをプリントに図示させてから立式させる。</li> <li>・早くできたペアには、他の求め方も考えさせる。</li>   <li>○ものの数の求め方を、乗法を用いて解決できるように工夫して考え、図などを使って説明している。(数学的な考え方)</li>   <li>・図と式を対応させながら発表させる。</li> <li>・発表が滞った場合は、他の児童に補足説明を促す。</li> <li>・全体で「1つ分の数」と「いくつ分」が図のどの部分にあるのか確かめさせる。</li> </ul>